

漢字が語る日本文化 —フランス人のまなざしから アレックス・バーブ氏

【講演要旨】

私は、漢字に惹かれて日本にやって来ました。その後、2024年、9回目の挑戦で「漢字検定1級」に合格できました。ヨーロッパ連合（EU）出身の外国人では初めてのケースだそうです。合格に至った経緯をお話するとともに、フランス人の視点から「言葉」を通して日本文化の姿を考察します。

※講演は日本語で行われます

【講演者紹介】

アレックス・バーブ（Alexandre BARBE）
立命館大学嘱託講師、甲南大学非常勤講師



パリ第2大学でジャーナリズムの修士号を取得後、2012年に来日。兵庫県の禅寺で半年間修行し、2017年に京都へ移住。フランスのラジオ局特派員として活動したのち、現在は、甲南大学と立命館大学にて、フランス語の授業を担当し、欧州文化やフランスのメディアを講じる傍ら、新聞コラムの執筆、体験記の出版、テレビの知的エンタメ番組出演など幅広く活躍している。

開催日

2026年3月11日 水

会場

甲南大学

岡本キャンパス

241講義室（2号館4階）

13:00～14:30（開場 12:30～）

申込

参加無料 要事前申込 Webによる優先申込受付 定員50名

【参加人数把握のために3月9日（月）12:00までにお申し込みをお願いいたします】

※空席がある場合には当日のご参加も可能です。

右記QRコードもしくは

<https://forms.office.com/r/4dD1Z840HH>

からお申込みください。

